

石屋工務店 かわら版

第126号

H27年8月20日 発行

人と石屋の多趣味人生

その102

平戸へ

一年ぶりに平戸へ帰ってまいりました。今回は友人たちが平戸の海を見たいとの事でおっさん四人の珍道中となりました。一人で行くときは身軽にバイクで行くのですが、今回は久しぶりの車での帰郷です。自分だけのペースで動かせないので、全体の行程をゆつくり目に取り



ここで駅のガード下にあるちゃんぽん屋さんで早い昼食。同行の三人は本場のちゃんぽんに感激して

ました。行きは南港からフェリーで九州を目指します。最近のフェリーはと言うかフェリーに乗るのは十五年ぶり。大浴場もついていてのんびりと過ごします。朝起きるとそこはもう門司港です。ここから一路佐世保を目指します。高速が続いていきますので午前中には佐世保着。こ

こで駅のガード下にあるちゃんぽん屋さんで早い昼食。同行の三人は本場のちゃんぽんに感激して

ました。行きは南港からフェリーで九州を目指します。最近のフェリーはと言うかフェリーに乗るのは十五年ぶり。大浴場もついていてのんびりと過ごします。朝起きるとそこはもう門司港です。ここから一路佐世保を目指します。高速が続いていきますので午前中には佐世保着。こ

ました。行きは南港からフェリーで九州を目指します。最近のフェリーはと言うかフェリーに乗るのは十五年ぶり。大浴場もついていてのんびりと過ごします。朝起きるとそこはもう門司港です。ここから一路佐世保を目指します。高速が続いていきますので午前中には佐世保着。こ

ました。行きは南港からフェリーで九州を目指します。最近のフェリーはと言うかフェリーに乗るのは十五年ぶり。大浴場もついていてのんびりと過ごします。朝起きるとそこはもう門司港です。ここから一路佐世保を目指します。高速が続いていきますので午前中には佐世保着。こ

母校の今

お盆、実家に帰ったときに母校の小学校を見に行ってきた。少子化で五年ほど前に廃校になりました。建物は福祉施設に改修予定であり、グラウンドには児童施設が建つていきます。しかし、全体を見たかんじでは大きな敷地に対して、

児童施設の大きさが合っていないように感じます。福祉施設に改修も近くに同様な福祉施設がありま

子供の姿もあまり見かけません。高速道路や国道が近くにあるので、利用されなくなつた山を削って、工場や倉庫が建てられつつあります。利用方法として何か違うように感じます。

調べてみると地元が率先して寂れた地域を復興した事例がたくさんあ

り、地元もこのような復興ができないかと考えています。

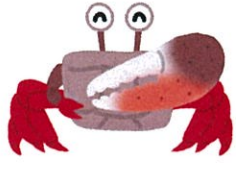
古野 充宏



石坂 晴夫

報告

去年の終わりと、春頃に瓦版に書いた「もつくん」のモズク蟹ですが、六月に残念ながら昇天してしまいました。亡くなる前日に今までにない大暴れをし、「なんだなんだ？」と家族で不思議がつていたので、翌日「あれはきつとしんどかつたのか？」とか、「みんなに知らせたかつたんだらう」と言ったのですが、まあ後の祭りです。具合悪そうだからとお医者連れて行くこともしないのは、



今から考えると可哀そうなものだなあと思いますが、最初「食べようか？もうちょっと大きくしてか

ら？」なんて思っていた気持ちはなく、つてしまひ、日頃上等なお刺身しか食べなかつたけれど、亡くなつた時はやっぱり可哀そうで、もつくんを食べることは出来ず、裏の山のところに埋めて「あん」しました。「今度生まれ変わる時はもうちょっと大きいものになつて楽しい一生をおくるんやでえ」と願って止みませ

東北の姿

先日、初めて東北へ行ってきました。今振り返ってきたのは、宮城県石巻市と福島県南相馬市です。震災の象徴的な場所とも言える大川小学校では、生徒七十四名、先生十名の校庭にいたほとんどの方が亡くなられたそうです。校舎の二階まで天井が抜け落ち、二階に避難しても助からなかつたことが見てわかります。海沿いの高台にも行きましたが、ここ七mの高台にも津波が押し寄せたそうです。私がもしここにいると、まさかここまで津波がくるとは想像もできなかったと思います。



山本 夕起子

中西 恵梨